

中国電力をはじめ、 電力各社が一丸となり停電復旧に取り組む



中国電力



関西電力



九州電力



中部電力



北陸電力

この度の西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」により、お亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を表しますとともに、御遺族と被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

この豪雨により、地域の生活を支える重要なライフラインである電力設備も大きな被害を受けました。7月6日の豪雨の発生以降、中国電力エリアでは延べ19万3千戸のお客さまが停電するなど、停電の範囲が甚大かつ広域に及びました。

中国電力では、約2千人を動員し、昼夜を問わず復旧作業にあたるとともに、中部電力、北陸電力、関西電力、九州電力から300名を超える作業要員や、発電機車など140台を超える車両の応援派遣を受けて

復旧作業にあたった結果、7月13日には、停電をすべて解消しました。

電力各社では、平時から他電力エリアへの復旧応援に関する訓練を実施しており、大規模災害の発生時には、電力設備の被害や復旧資機材の保有状況についての情報連携や、連絡体制の強化、応援可能な車両の準備などを要請がなくても自主的に実施しています。

電力小売全面自由化など、電気事業を巡る環境は大きく変わりましたが、今後とも、「電力の安定供給」という電力各社に共通する変わらぬ使命のもと、大規模災害の発生時には、一丸となって取り組んでまいります。